

ライフジャケット

国土交通省型式承認品

BJ-2500 型

小型船舶用救命胴衣（膨脹式）

（小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの）

取扱説明書

安全のため、使用前に必ず全てをお読み下さい。

製造元

東洋物産株式会社

東京都杉並区和田 3-53-14

Tel 03-3312-1471 Fax 03-3312-1560

URL:<http://www.toyo-bussan.co.jp>

はじめに

この度は、ライフジャケット BJ-2500 型をお買い求め頂き、誠に有難うございました。本書では、製品を安全にご使用頂くための注意事項について説明しています。ご使用前に、本書を必ずお読みの上、ご使用頂きますよう、お願い致します。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全にご使用いただくための、重要な情報が記載されております。本製品をご使用になる前に、必ずお読み下さい。特に「安全上のご注意」を、必ずお読みになり、ご理解された上で、本製品をご使用下さいますようお願い致します。また、本書は、製品をご使用になるとき、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管しておいて下さい。

本製品の基準について



本製品は、船舶設備規定、及び小型船舶安全規則に基づく、作業用救命衣、小型船舶用救命胴衣の要件を満たしたものです。

本製品は、手動膨脹式です。作動索を引くことにより膨脹いたします。

また、2013年に改正された型式承認基準に適合した製品です。

説明書について

- 本書の内容の一部、または全部を無断で、転載する事は、禁止されております。
- 本書の内容について、将来予告なく変更する事があります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や、誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、弊社又は取り扱い販売店まで御連絡下さい。

本書の表記について

●警告表示について

次の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人に加えられる恐れのある危険や損害を、未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読み下さい。



この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

安全上のご注意

危険

- 本製品は、救命具としての用途以外には使用しないでください。
- 本製品は一人分の浮力しかありませんので、複数の人に対する対応はできません。
- 本製品は着用者の頭部を水面上に出す浮力を持ち、呼吸をやすくする機能がありますが、生命の安全を保証するものではありません。(高波・うねりや体温低下には注意が必要です。)
- 着用手順に従い着用してください。誤った方法で着用されると、ライフジャケット本来の機能が損なわれる場合があります。(8～9 ページ参照)
- 浮力体となる気室に傷をつけないでください。特に針には注意してください。気室に穴が開きますと、ポンベから充填したガスが漏れ、本来の機能をはたす事ができません。着用中の転倒や針掛かり等で、気室や膨脹装置に傷や破損が見られる場合は直ちに確認し、ガス漏れがあった場合は、直ちに使用を中止し、新しいものと交換してください。
- 本製品を分解又は改造しないでください。
- 膨脹装置を一度作動させた場合は、ポンベ・安全ピンのパーツを必ず交換して使用してください。再使用はできません。
- お客様の安全を考慮し、ポンベのまわりが錆びている場合、ポンベを交換してご使用ください。
- 水中で浮遊する場合岩や鋭利な浮遊物等には、できるだけ近づかないでください。気室を傷つけ、使用できなくなる恐れがあります。磯では使用しないでください。

警告

- 本製品を投げたり、落としたりしないでください。膨脹装置の故障や誤作動による不具合が生じる場合があります。
- 煙草などの火気に近づけたり、針や突起物等の、鋭利な物による突き刺し・引っ掛けなどの破損には十分注意してください。着用前に鋭利な物(ピンオンリール・ピン付バッジ・ハサミ等)は取り外してから使用してください。気室に穴があき使用できなくなる恐れがあります。
- 本製品を着用する前に、吹き込み口から空気を注入しないでください。膨脹装置が作動した時、気室内の圧力が過大になり、気室が破損し使用できなくなる恐れがあります。
- 本製品を着用する場合は、必ず着衣の一番上に着用してください。本製品の上にバッグ等を着用したり、着衣の下(内側)に着用しますと、膨脹するスペースが制限される等で、本来の機能が阻害される恐れがあります。
- 万が一、不意に膨脹する場合を想定し、予備のボンベ・安全ピンを携帯する事をおすすめします。

注意

- ご使用前に必ず添付の取扱説明書(本書)を必ずお読みください。
- 本製品を保管時・着用しない時は、乾燥した場所で管理してください。また、直射日光・光源の当たる場所や、薬品・溶剤・油と接触する場所や熱源等の高温になる場所、ネズミ等の害を受ける場所では保管しないでください。
- 着用する前に、バックル・胴締めテープ等の部品が、傷ついたり、破損したりしていないか必ず確認してください。
- 本体が汚れた場合は、洗濯機で洗ったり、乾燥機・アイロンを使用しないでください。膨脹したり破損や劣化の原因となります。柔らかいスポンジ等に薄めた中性洗剤を染み込ませて、汚れた部分を拭き取る程度にしてください。
- 本製品の上に座ったり、重いものを乗せないでください。トランクや車内での長期保管はしないでください。破損や劣化の原因となります。



救命衣をお使いになる前に(必ず確認して下さい。)

ここでは、本製品をご使用になる前に必要な確認事項について説明致します。

製品及び付属品をご使用前に必ず確認してください。

万一不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 炭酸ガスボンベ(未使用品)は確実に、緩まず膨脹装置に装着されていますか？→5 ページ名称図及び 6 ページ①
- 手動索用レバーが確実に上まで上がっていますか？→5 ページ名称図及び 6 ページ②
- 本製品の標示部に検定合格印(サクラマーク)が、押印されていますか？→右図「製品の標示位置」
- 膨脹装置のナットが緩んでいたり、外れていませんか？→5 ページ名称図及び 6 ページ構造図

製品説明及び部品構成

主な規格及び性能

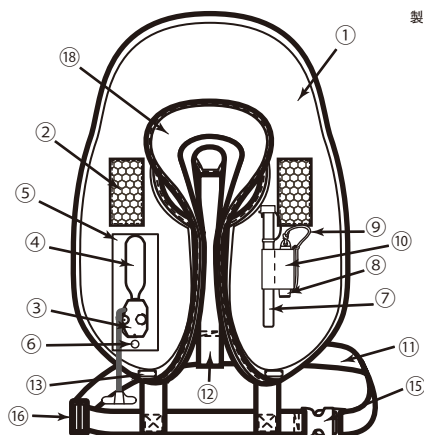
| NO | 項目 | 規格及び性能 |
|----|--------|----------------------------|
| 1 | タイプ | 小型船舶用救命胴衣(膨脹式) タイプ A |
| 2 | 型式名 | BJ-2500 型 |
| 3 | 型式承認番号 | 第 5325 号 |
| 4 | 浮力 | 初期 10.9kg 24 時間後 7.5kg 以上 |
| 5 | サイズ | フリーサイズ |
| 6 | 製品重量 | 560g |
| 7 | 常用圧力 | 30mmHg(社内試験による耐圧性 150mmHg) |

各部の名称 (BJ-2500)

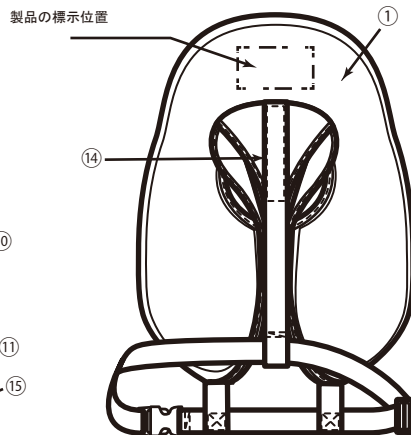
小型船舶用救命胴衣 (膨脹式)

BJ-2500

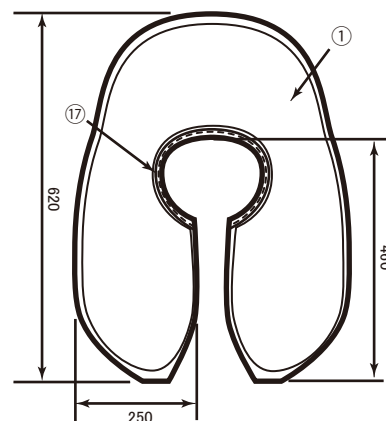
【前面図】



【背面図】



【気室布】



(寸法は標準寸法を示す) 寸法許容差 ±5%以内 単位: mm

| | | | | | | | | | |
|-----|----------|----------------|----------------|----------------------|-----|--------------|------------|--------------|--------|
| 1 3 | 外装布接続テープ | ナイロン | 平織 1.1 × 15 mm | | 2 6 | 縫糸 | ポリエステル | 20番又は30番 | |
| 1 2 | 背ベルト | ナイロン | 平織 1.4 × 38 mm | | 2 5 | 弁 | ポリエステルメッシュ | | |
| 1 1 | 胴ベルト | ナイロン | 平織 1.4 × 38 mm | | 2 4 | 縁取りテープ | ポリエステル | 16mm幅 | |
| 1 0 | 笛収納ゴム | オベロンゴム | 50mm幅 | | 2 3 | 面ファスナ(オス) | ナイロン | 38mm幅 | |
| 9 | 笛紐 | ポリエステル | 2.5mmφ | | 2 2 | 面ファスナ(オス・メス) | ナイロン | 10mm幅 | |
| 8 | 笛 | スチロール | | | 2 1 | ボタン | ポリアセタール | | |
| 7 | 補助送気装置 | ポリウレタン | | | 2 0 | 気室布接続テープ | ナイロン | 杉綾 1 × 20 mm | |
| 6 | ボタン | ポリアセタール | | | 1 9 | カット装置窓 | PVCフィルム | 0.5 mm厚 | |
| 5 | 保護カバー | PVCフィルム | 0.5 mm厚 | | 1 8 | 外装布 | ナイロン | | |
| 4 | 炭酸ガスボンベ | CO2 | 17g | | 1 7 | 縁取りテープ | ポリエステル | 20mm幅 | |
| 3 | カット装置 | ポリアセタール | | SW-20 | 1 6 | 調整環 | ポリアセタール | | LA38S |
| 2 | 再帰反射材 | 型式承認品 | 50 × 100mm | | 1 5 | バックル | ポリアセタール | | IB38SA |
| 1 | 気室布 | ナイロン 100% 210d | | 東洋ウレタンセンター協工 T-5135W | 1 4 | 面ファスナ(メス) | ナイロン | 38mm幅 | |
| 番号 | 項目 | 材質 | 規格 | 品番 | 番号 | 項目 | 材質 | 規格 | 品番 |

膨脹装置

構造図及び部品名称

本装置は、手動レバー、撃針により構成された装置に、炭酸ガスポンベを装着することにより、機能する構造になっています。

手動索を引くことにより、撃針を押し上げることでポンベの封板を破り、ポンベ内の炭酸ガスが気室に充填される仕組みになっています。

⚠ 危険

手動膨脹装置点検確認(ご使用前に必ず確認してください。)

① ポンベは、未使用のものが取り付けてあること。
(ポンベを取り外し、ポンベの封板に穴があいていない事を確認する。もしくは、ポンベの重量を測定して確認する。)

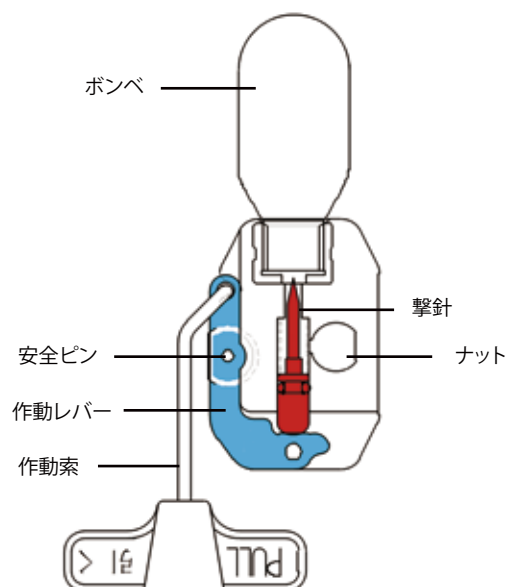
② 安全ピンが外れていないこと、また、手動レバーが、下方におりていないこと。

(撃針が出て、ポンベに穴をあけている可能性があります)

③ その他、ナット等の締めつけ部に緩みの無い事。
(膨脹時にガスが漏れる可能性があります)

上記の項目を満たしていない場合は、使用しないで販売店にご相談下さい。

(構造図及び部品名称)



注意

保管方法及びメンテナンス

保管及びメンテナンスにあたっては、次のことに注意してください。

1. 本製品の上に、重いものを乗せたり、丸めたりした状態での保管はおやめ下さい。
2. 高温、多湿及び直射日光のあたる場所での保管は避けてください。
3. 使用する前に、吹き込みチューブから息を吹き込んで膨らませて、気室に問題がないか確認して下さい。確認後は、必ず空気を抜いておいてください。
(空気を抜く場合は、チューブキャップのつばの部分をチューブに差し込み逆支弁を押すことによって、弁を解放し、空気を排出することができます。)
4. 外側の外装布は、気室布を保護する役割も兼ねています。気室布が外装布から飛び出していると損傷の原因となりますので、必ず、外装布の中に納まるようにしておいて下さい。

危険

ガスポンベの交換、及び再セット方法

●本救命胴衣 BJ-2500 型は、本体の構成部が破損しない限り、ガスポンベを交換することにより、何度でも使用することができます。必要な場合は次の方法で交換して下さい。(ガスポンベは、救命胴衣を膨脹させた場合には交換して下さい。)

1. 水中で使用した場合、膨脹装置についた水分を、乾いた布等でよく拭き取り、陰干し乾燥したのち、以下の再セットを行ってください。海水がカット装置に付着している場合は、真水で軽く洗ってから、乾燥させてください。
2. 使用済みのガスポンベを、左に回して、取り外して下さい。
3. 手動レバーが元の場所にきちんと戻し、安全ピンを装着して下さい。
4. 未使用のガスポンベを右に回して、しっかりとねじ込んで下さい。
5. 膨脹装置が気室布の上に来るように両端を山折りし、外装布のマジックテープを閉じ、反対側も同様に吹き込みチューブが気室の上に来るようにたたみ、衿部分は後方に巻き込むようにたたみ、周囲前部のマジックテープを閉じて下さい。→P10「収納方法について」参照
6. 手動索の引き手が外装布の外に出ている事を確認して下さい。

⚠️ 注意

製品・パーツの交換時期及び廃棄について

- 現在、ライフジャケットについての耐用年数は、国土交通省 型式承認基準としては設定されておりません。本製品は、使用頻度や、使用環境、並びに保管方法等により、万一、次のような兆候が製品に現れた場合や、極度に破損した場合は、速やかに新しいものと交換して下さい。
1. 外装布が摩耗したり、マジックテープが取れて、気室布を保護する事が困難になった場合。バックルが割れたり、ベルト部などの縫製部が切れて体を保持できない場合。
 2. 膨脹装置にひび等が入り、気密性に問題が生じる可能性がある時。
 3. 外装布の上から、鋭利なものが刺さったりして、気室布を破損してしまった場合。
 4. 気室が熱や経時変化などにより劣化し、空気がもれる場合。
 5. 廃棄される場合は、産業廃棄物またはお住まいの自治体の指示に従って処理して下さい。

⚠️ 警告

着用方法及び使用方法について

- ① 刺繍やプリント・ワッペンなどを取り付けてある方が前面にくるように、ベルトと本体の開口部に、腕をそれぞれ通して、襟が首に掛かるようにして下さい。



- ② 背部吊ベルトが、背中の真ん中にくるように調整して下さい。



- ③ 前のバックルを、セット(カチッと音がするまで)して下さい。



- ④ 本体が抜けないようにベルトを調節し、強く締めて体にフィットさせて下さい。



⚠ 注意

股ベルトはありません。必ず着水後に手で作動索を強く引き続け、膨脹させてください。

- ⑤ お客様の安全を考慮し、着水後に、握り玉を持ち作動索を下方に強く引き続け、膨脹させてください。



作動索を強く引く



膨脹後

- ⑥ 膨らみが足りない場合は、吹き込みチューブから、強く息を吹き込んで膨らませてください。吹き込みチューブは、気温、水温、時間の変化により、気室内の圧力が低下し、十分な浮力を得られることができない時使用するものです。また救助を求める場合はホイッスルを強く吹いてください。



チューブから息を吹き込む

- ⑦ ガスを抜く場合は、チューブキャップのつばの部分にチューブを差し込むと逆止弁が押され、充填されている気体を排出することができます。ガスが完全に抜けたらキャップを元の位置に必ず戻してください。そのままの状態では折りたたむと、膨脹時にガスが抜け、危険です。



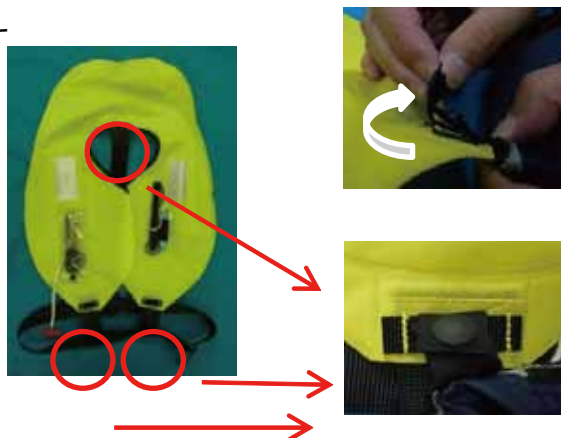
ガスを抜く

⚠ 危険

水中で使用中の場合は、絶対にガスを抜かないで下さい。

収納方法について

- ①気室布と外装布をボタンで留めます
(3箇所)



- ②気室の側面を膨脹装置が見える
ように両端を山折りします。



- ③側面を面ファスナーで止めます。



- ④反対側も②～③と同様に閉じます。



⑤本体を裏にして、上側気室を斜めに折り、三角形を作って下さい。



⑥三角形を二つ折りにします。



⑦面ファスナーを閉じて下さい。



⑧引き手が出ているか確認して下さい。



⑨完成です。

